

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度 第5回吉川市児童福祉審議会
開 催 日 時	平成27年3月12日(木) 午後6時00分から 午後7時05分まで
開 催 場 所	吉川市役所第2庁舎201会議室
出席委員(者)氏名	和泉広恵会長、田中公明委員、戸張精一委員、林美希委員、 小助川美穂委員、林桂委員
欠席委員(者)氏名	五十嵐修委員、長井圭子委員
担当課職員職氏名	健康福祉部 副部長兼保育幼稚園課長 戸張悦男 子育て支援課 課長 岡田なるみ 子育て支援課子育て支援係 係長 木村みのり 子育て支援課子育て支援係 主任 城取直樹 保育幼稚園課課長補佐兼子ども・子育て支援新制度係 係長 岡崎久詩 保育幼稚園課保育係 係長 渡辺剛 保育幼稚園課子ども・子育て支援新制度係 主事 小川麻衣子
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開 会 2 あいさつ 3 議事 (1) 子ども・子育て支援事業計画について(報告) (2) 小規模保育事業の認可及び確認に係る意見聴取について 4 その他 5 閉 会 ※ すべて公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	なし
傍聴者の数	なし
会議資料の名称	次第、配付資料一覧表、資料1、別紙資料1、別紙資料2、 資料2、追加資料
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	田中公明委員、戸張精一委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

<p>事務局</p>	<p>1. 開会</p> <p>開会の宣言</p>
<p>和泉会長</p> <p>事務局</p> <p>和泉会長</p>	<p>2. あいさつ</p> <p>和泉会長挨拶</p> <p>配付資料の確認</p> <p>会議録署名人の指名</p> <p>田中委員と戸張委員を指名。委員了承。</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 子ども・子育て支援事業計画について(報告)</p> <p>【関係資料】</p> <p>資料1 子ども・子育て支援事業計画について(報告)</p> <p>別紙資料1 吉川市子ども・子育て支援事業計画</p> <p>別紙資料2 吉川市子ども・子育て支援事業計画概要版</p> <p>(主な説明概要)</p> <p>平成25年度より2年間をかけて審議・検討してきた「吉川市子ども・子育て支援事業計画」について、子ども・子育て支援法第61条第9項に基づく埼玉県との協議が整ったため、別紙資料1のとおり計画を策定する。また、市民に広く周知するため、別紙資料2のとおり概要版を作成する。</p> <p>なお、埼玉県からの指摘事項は資料1のとおり。計画は3月20日までに県に提出することになっている。</p> <p>計画と概要版については、現在、文言や体裁等の最終修正を行っているところである。委員あてには製本された計画及び概要版を郵送にて送付させていただく。</p> <p>計画と概要版は市民や職員への周知を含め、対応させていただく。</p>
<p>事務局</p>	

<p>小助川委員</p>	<p>(質疑応答)</p> <p>利用者支援事業については、9月に開催された審議会時の計画案の時にはなかった事業だったと思うが、この事業について教えて欲しい。</p>
<p>事務局</p>	<p>国のモデルとしては、専門員を一人配置し、子育て支援全体に関するコーディネートをする役割を担う事業であるが、本市においては、既に各子育て支援センターのスタッフや子育て支援課の職員がその役割を担っており、これからもさらに充実していこうと考えているところである。現段階で、利用者支援事業として大きく動いていくわけではないが、現在の体制の充実と不足部分の検討を踏まえ、計画に記載させていただいた。</p>
<p>小助川委員</p>	<p>利用者支援事業と聞くと、横浜市の保育コンシェルジュが思い浮かぶが、吉川市としては新規事業ではなく、既存事業の充実という解釈でよろしいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>新規事業の可能性も含めて今後検討できるように、計画に記載したところである。</p>
<p>林美希委員</p>	<p>文章内の「職員」は行政職員と子育て支援センターのスタッフのみという解釈でよろしいか。ホームスタート事業は、市民でもスタッフになることが出来るが、利用者支援事業は市民が入る余地があるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>詳細は現時点では未定であるが、職員やスタッフだけではなく、市民を活用することの可能性も検討していきたいと考えている。</p>

和泉会長	確認だが、計画で記載されている「職員」とは、限定的な意味ではなく、広く解釈できる意味として捉えてよろしいか。
事務局	限定的に捉えてはいない。事業に携わる人たち全員が関係してくると考えている。
林美希委員	文章を読むと、そのように捉えることが難しいので、単語の修正を検討していただきたい。
和泉会長	今後、大幅な変更はないということなので、計画については以上でよろしいか。 (委員了承)
	<p>(2) 小規模保育事業の認可及び確認に係る意見聴取について</p> <p>【関係資料】</p> <p>資料2 小規模保育事業の認可及び確認に係る意見聴取について</p> <p>(主な説明概要)</p>
事務局	小規模保育事業の認可及び確認については、児童福祉審議会の意見を聴かなければならないことになっているため、その概要等を説明。今回は3事業所について意見聴取を行う必要があるため、各事業所の概要等について説明。 (質疑応答)
田中委員	小規模保育施設の監査の仕組みはどのような形になっているのか。
事務局	これまでも認可外保育所に対しては年1回の実地検査を行っていたところであるが、来年度からはこれに加えて、給付対象として毎月の確認も必要となるため、さらに厳格な仕組みとな

林美希委員	<p>る。</p> <p>連携施設について、実際にどのように連携していくのか。</p>
事務局	<p>連携施設の大きな役割としては、3歳児以降の保育・教育の受け皿確保と保育の指導・研修・助言や集合保育、行事の連携など、日々の保育支援がある。</p>
林美希委員	<p>平成29年度に量の見込を上回る確保方策を設定しているが、どこまで話が決まっているのか。</p>
事務局	<p>地域型保育事業については、平成29年度までにはもう1か所整備し、さらに19名の利用定員を確保していく計画である。具体的な調整は今後になるが、実現は可能と考えている。</p>
和泉会長	<p>大きな枠組みの確認として、吉川市においては、主に待機児童対策として小規模保育事業を展開するという考えでよろしいか。</p>
事務局	<p>本市においても特に3歳未満児の入所待ち児童が多いため、参入しやすい業種であり、小回りの利く小規模保育事業は、待機児童対策として期待しているところである。</p> <p>また、認可外保育所から小規模保育事業への移行についても、より質の高い保育が提供されるものと考えている。</p>
林桂委員	<p>これまでの認可外保育所が小規模保育事業として認可されると、保育料は他の認可保育所と統一されるということによろしいか。</p>

事務局	お見込のとおりである。
林美希委員	今回、手を挙げなかった認可外保育施設はあるのか。ある場合、その理由はなにか。
事務局	事業者としては1事業者が手を挙げなかった。この施設では、現在、英語教育などの独自色の強い取り組みをしているが、認可になることで様々な制約も生じるため、移行を希望していないものと考えている。
林美希委員	確認に係る利用定員の設定部分については、私たちはどこを確認すればいいのか。
事務局	これまでご審議いただいてきた子ども・子育て支援事業計画における量の見込みに対する確保策など照らして、ご意見いただきたいと考えている。今回の3事業所については、既に当初より計画に計上させていただいているところである。
戸張委員	連携施設については5年間の経過措置があるが、平成28年4月には、2歳児は3歳になるので、あまり時間は用意されていない。大丈夫だとは思いますが、なるべく早目に施設を確保しておく必要がある。
事務局	<p>市も間に入って調整をしていきたい。経過措置期間において3歳児の受け皿確保が十分でない場合であっても、利用調整において加点することで、行き先は確保していく。</p> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明及び連絡事項。

事務局

(1) 利用者負担案に係る変更点及びパブリックコメントの結果について

【関係資料】

追加資料 利用者負担案に係る変更点及びパブリックコメントの結果について

(主な説明概要)

前回の審議会で審議した利用者負担案について、国の基準変更などに伴い、数値を修正した旨を報告。また、パブリックコメントの結果について報告。

(委員からの意見等なし)

(2) 審議会の今後について

(主な説明概要)

計画の評価手法や時期などについては、現時点で国から情報がないため、未定である。今後、通知等が届き次第、開催時期を検討することになる。

なお、今回の議題(2)で審議いただいたような案件は、平成27年度においても整備計画があるため、来年度、複数回開催して意見聴取させていただくことになると考えている。開催時期については不確定であるため、決まり次第、連絡させていただく。

今回の審議会をもって、計画に関する審議は終了となる。市としては、この計画に沿って施設整備等を行い、必要な確保を行うとともに、子育て支援策を展開していきたいと考えている。

委員の皆様には、2年間御審議いただき、感謝を申し上げます。今後においても引き続き御協力をお願いしたい。

5. 閉会

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成27年3月27日

署名委員 田中 公明 自署 署名委員 戸張 精一 自署